



生物多様性フォーラム和歌山大学発表(1)

## (特非) 自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

# 未来遺産登録地孟子 不動谷トンボ相復活& 人材育成事業

一般助成

3年目

実践

生物多様性フォーラム

165人

の視聴者

トンボ調査員育成

3人

活動の全体目標に  
対する達成度

85%

### 課題

耕作放棄地の増加により寸断された稲作水系を、湿地ビオトープ創生により復元する。大学生のトンボ調査チームを構成し、トンボ調査を行いつつ若い調査員の育成を図る。

### 目標

稲作水系を復元し、トンボ調査を通じて若い調査員の育成を図り、生物多様性フォーラムを通じて活動をアピールする。

### 活動内容

約10aの耕作放棄地を水辺ビオトープ(冬水たんぼ)として復元し、和歌山大学の学生の皆さんにより組織される若い調査員の方々によりトンボ調査を行い、年度末に「生物多様性フォーラム」で研究結果の発表を行った。



生物多様性フォーラム  
和歌山大学発表(2)

### 達成できなかったこと

和歌山大学には農学部や理学部がなく、動物調査を専門に行う学科がないので、どうしても多くの学生の獲得が困難だった。

### 今後の展望

和歌山大学との協働関係を今後も強固にしなが、孟子不動谷を生物調査研究の拠点として自立させる。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

生物多様性フォーラム視聴者の人数は達成したが、トンボ調査員の育成人数は残念ながら達成できなかった。

### 工夫

フォーラム集客の際、過去に視聴してくださった方々にダイレクトメールを送付した。